

協約・協定改訂 職場要求を勝ち取るうシリーズ ⑦

第6回協約・協定改訂団体交渉 連続最高益を社員に還元せよ！

本部は9月7日、2015年度基本協約・協定改訂第6回団体交渉を開催しました。今回は主に賃金、出向社員の労働条件、福利厚生などについて議論をしました。

会社はベアの一律配分について、「来年ベアがあるか分からない、そのときの議論となる」とし、「一律配分については賃上げ団交時の議論以上でも以下でもない」と消極的な姿勢を示しました。組合として若年層も年配者も労苦は同じであり、特に管理者にだけ厚い配分は問題だ。格差をなくすためにもベアを一律に配分することを求めました。また、昇格の意欲の前に、仕事の意欲をなくす昇給額の逡減について断固廃止するよう求めました。

手当の改善について会社は頑なに「現段階引き上げる気はない」という姿勢です。しかし、会社は社員の労苦によって連続して最高益を更新しています。組合は、今こそ社員へ利益を還元する時であると強く会社の姿勢を質しました。

出向会社の労働条件について、会社は「違う会社の労働条件にまで口は挟めない、問題があれば労基署などで対応せよ」と出向者に対する冷たい姿勢を示しました。組合は、そもそも労働条件の悪い会社に出向させることが問題で、出向させる時は本人の納得を得るよう強く申し入れました。

他に、熱中症、福利厚生などについても議論しましたが、会社は誠意のない姿勢に終始しました。

本部は、このような会社姿勢をを許すことなく、最後まで現場で働く社員の利益を勝ち取るために奮闘します。

次回団体交渉は9月10日13時から開催されます。

やる気をなくす昇給額の逡減反対！
ベースアップを一律配分し格差是正を！